

①ゴルバチョフ氏の功績について、空欄を埋めましょう

体制を立
て直す「
進、
」を推
進、
を終結に導いた

1987年12月、
と
条約に調印した。
米大統領
() 廃棄

②ロシアによるウクライナ侵攻から半年一。戦争終結に向け、わたしたちにできることを考えましょう。

ソ連最後の最高指導者、冷戦終結

ゴルバチョフ氏死去

91歳



核戦争の危険を遠ざけた東西融和の立役者として国外で高い評価を受けたが、国内では超大国崩壊の責任を問われた。

1991年にロシア・ソ連のトップとして初めて来日。北方領土問題では、日本が返還を求める4島が交渉の対象であることを確認した。

85年3月にソ連共産党書記長に就任。「グラスノスチ（情報公開）」を掲げ、停滞していた社会の民主化を推進。共産党一党独裁廃止などを進め、90年3月に新設のソ連大統領に就任した。

87年12月、レーガン米大統領と中距離核戦力（INF）廃棄条約に調印。89年12月にはマルタでブッシュ（父）米大統領と「東西冷戦の終結」を宣言。ベルリンの壁崩壊やドイツ統一にも道を開いた。90年にノーベル平和賞を受賞した。しかし91年8月の保守派クーデター未遂事件で実権を失い、同12月、ソ連崩壊を受け辞任した。

プーチン大統領は31日、ゴルバチョフ氏死去の報に接し「深い哀悼の意」を表した。

2月にロシアが開始したウクライナ侵攻には、主宰する団体を通じて反対の立場を示していた。

インタファクス通信によると、ゴルバチョフ氏の娘イリーナさんは31日、葬儀は9月3日に営まれると述べた。告別式はモスクワ市内のホールで執り行われる。

【モスクワ共同】旧ソ連最後の最高指導者、ミハイル・ゴルバチョフ元ソ連大統領が30日、入院先のモスクワ市内の病院で死去した。タス通信が報じた。91歳だった。硬直した共産党独裁体制を立て直す「ペレストロイカ（改革）」を推進、東西冷戦を終結に導いてノーベル平和賞を受賞した。詳しい死因は伝えられていないが、ロシアメディアによると新型コロナウイルス感染拡大を受け、2020年から医師の勧めで入院していた。

(3、11、26面に関連記事)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

なまえ【 】